

「制度はないけれど、必要な支援を創造し、実践する」
会員が力を合わせ、ひとつずつ実践を広げていきましょう♪

平成27年
2月27日(金)発行
滋賀の縁創造実践センター

第2回「滋賀の縁塾」を開催しました

「困難事例の解決に向けたトータルサポート力の向上」研修会



↑ 講師は前回に引き続き、同志社大学社会学部教授 上野谷加代子先生(右)と野村裕美先生。上野谷先生は縁センター副代表理事も務めてくださっています。笑顔がとっても素敵なお二人です♡

平成26年12月15日(月)草津市立まちづくりセンターにて、第2回滋賀の縁塾を開催しました。

大好評をいただきました第1回(9月開催・ニュースレター第2号に掲載)に続き、地域の課題解決のために多職種によるチームづくりを学ぶ研修会です。

今回は社会福祉士会や地域包括支援センター、高齢者施設、保育園、児童養護施設、社協等、実に幅広い分野から集った県内の福祉関係者に大学生も交えた総勢44名が参加し、2つの演習を行いました。

まず1つ目の演習は「協力の場、創造の場へ～6色の考える帽子～」と題し、さまざまな視点から問題を見つめることを学びました。

2つ目はケースメソッド討議。1つ目の演習で学んだ視点をふまえた上での具体的な事例検討を通じて学びを深めました。



<当日アンケートより>

『今回のディスカッションに参加することで、新たな気づきがありましたか?』との問いに、83%の方が「そう思う」「まあまあそう思う」と回答。

「知らなかった」を「知る喜び」に変える滋賀の縁塾、ぜひご参加ください(^_^)★

☆これからの予定と現在の動き☆

3月14日(土)
「幸せ結ぶ♡えにし蕎麦」開催

3月18日(水)
湖東圏域 第2回交流会

4月28日(火)
平成27年度縁センター総会

- ・子どもの居場所モデル事業
…現在進行中です!
- ・ひきこもりの人と家族への支援
…支援者交流会を開催しました
- ・要養護児童の自立支援
…就労体験プログラムをすすめています

嬉しい声がたくさん(^^)☆ 事後レポートが届きました!

今回縁塾で学んだことの感想について、事後レポートが事務局に寄せられましたので、一部紹介します。

提出してくださった皆さん、ありがとうございました!

「縁塾」と聞いて「絆」と言う言葉を連想しました。さまざまな背景から、地域社会の介護力・教育力が低下しました。でも、日本人が冷たくなったわけではないと思います。関心がない訳ではなく、**気になっていてもどのように行動したら良いのか迷っているのです。**
縁創造実践でお手本が示されればと思います。(社会福祉士)

今回、視点を分けて考えることの大切さに気づきました。本当に**支援者の静かな熱意にふれることは、日頃のねざらいとパワーをいただく気がしました。**
(社協職員)



これから縁塾を通して、縁センターの取り組みが周知されることを望みます。(老人ホームで子どもの居場所をつくる取り組みについて)高齢者の方の話相手や、子どもの居場所として双方に良い効果をもたらすことを考えると、**他分野で困っている方への支援が、他分野同士で解決方法を探ることで双方の問題解決に繋がることを思うと、これからの縁塾や縁センターの取り組みに期待します。**(社協職員)

自己の傾向に気づけた良い機会になった。このような機会と多施設、多職種との連携が定期的に図れる縁塾はうれしく思う。(社協職員)



チームとして同じ課題に取り組むなかで、同じ方向を向いて声掛けしなからずすんでいける仲間が多いと、どれだけ心強いかなと思った。またそれを実践できるように、互いが援助専門職として何をどこまでできる人が確認し、普段から自分はどのような専門職なのかと言語化して説明できるようにしておきたい。(生活相談員)

縁塾は、つながりのきっかけをつくるお手伝い!



「福祉関係者」とひとくくりに言っても、それぞれが毎日見ているもの・感じていることはもちろん、普段仕事で使っている言葉から違います。

他の職種との連携を実現するには、普段の仕事とはまた違った努力と根気が必要となるため決して簡単なことではありませんが、その壁を越えたところに今までとは違った視点と強みを持った人とのつながりがあり、そこから現在抱えている困難の解決策が見つかるかもしれません。

この縁塾が多職種連携、ひいては地域課題の解決の架け橋となるよう、企画を考えていきます!

来年度は各圏域ごとに開催しますので、参加やお声かけ等、どうぞよろしくお祈りします☆
「縁」は、一人ひとりが主役の取り組みです。皆であたたかい「滋賀の縁」をつくりましょう!!